

伊賀市議会だより

No.55
2018.11.1



旧博要小学校



清掃作業をする博要地域のみなさん



青山和太鼓練習風景



お月見コンサート

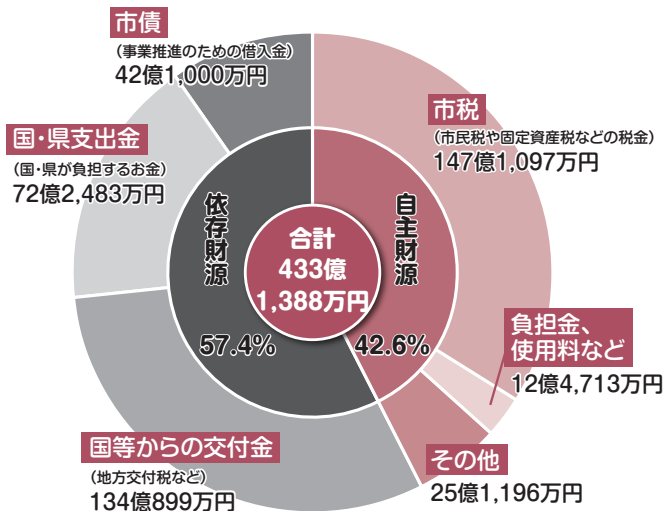
平成29年度決算

どんなことに使われたのか

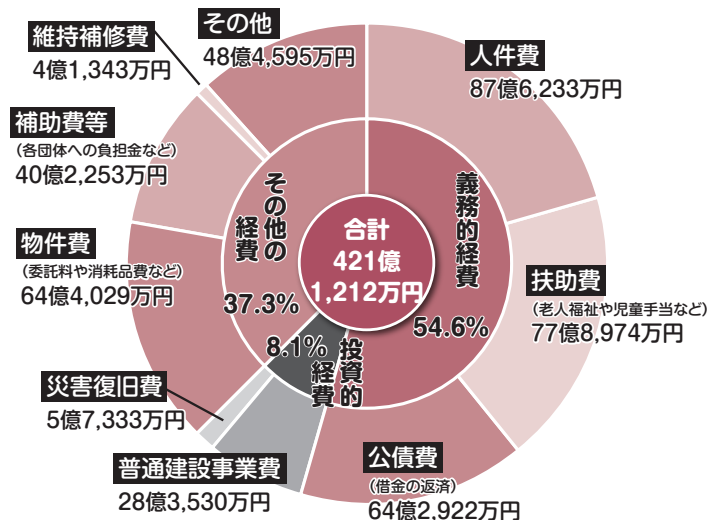
一般会計歳入歳出差引残額 12億177万円

うち実質収支 9億2,803万円 (翌年度へ繰り越すべき財源 2億7,374万円)

一般会計歳入決算の内訳 (万円未満は四捨五入)



一般会計歳出決算の内訳 (万円未満は四捨五入)



質疑(委員会)

地域運行型行政バス運行業務委託料

問 廃止代替バス7路線の業務委託料は、前年度より500万円増となっている。見直しもされているが、思い切って大きく改善するべきではないか。

答 これらの路線は、伊賀市地域公共交通網形成計画に基づき基幹のルートとして残していきます。合理化も必要ですが、交通弱者を含め交通不便地域も網羅できるよう進めています。

行政情報番組等制作及び放送経費

問 行政情報番組の放送経費について、新庁舎の開庁と共に見直しの考えは。また、その他の媒体の検討や総合的見直しの考えは。

答 どの時間帯でも情報を見ただけという形で始まった取組みですが、今はツールが増えていきます。今後、他市の情報を参考にし、積算の検証も行いながら、来年度の予算に向けて検討していきます。

病児・病後児保育室管理運営委託料

問 病児・病後児保育室の開設時間が8時45分となっているが、保護者の利便性を考えると遅いのでは。

答 開設時間については、改善しなければならない問題であると考えています。

不妊治療等助成事業

問 男性不妊治療費助成事業等の新規事業について、実績が0件となっているが、周知方法に問題があるのでは。

答 窓口での相談実績はありませんが、ご希望があれば対応します。周知は、市から医師会や市内産婦人科にお伝えしています。

斎苑管理運営経費

問 斎苑利用に関して、収骨までに時間がかかるという話を聞か、収骨までの時間の目安など、契約はどのようになっているか。また、施設全体の改築等の計画は。

答 収骨の具体的な時間の定めはありませんが、一日の中で施設を利用いただく時間枠の定めがあります。火葬炉の老朽化により、炉の修繕費用が増加している状況です。今後、炉の更新、または建替えの必要性等庁内において検討していく必要があります。

市営住宅耐震診断業務委託料

問 市営住宅の耐震診断は何件行われたか、診断が必要な住宅はまだ残っているのか、現状は。公営住宅のあり方について、新たに計画を作ると言われていたが考えは。

答 耐震性があると認められた管理戸数は699戸、改良住宅については736戸です。平成28年～30年の3か年をかけて耐震診断を行っており、住宅の状況を調査しながら、計画については今後見直していきます。

特別支援教育充実事業

問 支援を要する児童生徒が増加する中で、適切な支援が必要不可欠である。具体的な人的、物的支援がさらに必要では。

答 学校ではきめ細やかな指導を行っています。物的支援として様々な機器等の導入について検討中です。国からも指針が出されているため、予算措置も含めた研究を重ねていきます。

一般会計 421億1,212万円の成果を審査・認定

決算は議長、監査委員を除く全議員で構成する決算常任委員会に付託され、9月14日・18日の2日間にわたって審査し、28日の本会議で賛成多数で認定しました。(万円未満四捨五入)

基金(預金)

●一般会計 残高	154億 204万円
●特別会計 残高	11億7,211万円
●財産区 残高	3億1,522万円
<合計> 残高	168億8,937万円
	(対前年度比 -8億5,610万円)

市債(借金)

●一般会計 残高	542億7,209万円
●特別会計 残高	2,750万円
●企業会計 残高	313億8,648万円
<合計> 残高	856億8,607万円
	(対前年度比 -33億6,698万円)

平成29年度決算のあらまし(万円未満は四捨五入)

◆一般会計

歳入	433億1,388万円 (対前年度比 28億3,108万円減) 主な要因 市債の減少	歳出	421億1,212万円 (対前年度比 30億4,136万円減) 主な要因 普通建設事業費の減少
----	--	----	---

◆特別会計

	国民健康保険事業	住宅新築資金等貸付	駐車場事業
歳入	111億2,013万円	1,698万円	4,724万円
歳出	109億8,727万円	9,505万円	4,683万円

	介護保険事業	後期高齢者医療	サービスエリア
歳入	104億7,802万円	12億1,462万円	1,136万円
歳出	102億8,527万円	11億9,360万円	1,086万円

財産区(2会計)	
歳入	4,807万円
歳出	4,542万円

◆公営企業会計

		病院事業	水道事業	下水道事業
収益的収支	事業収益	44億9,383万円	35億894万円	25億8,248万円
	事業費用	45億4,660万円	30億6,968万円	24億9,275万円
資本的収支	資本的収入	2億725万円	6億4,550万円	7億8,389万円
	資本的支出	3億1,992万円	17億2,927万円	13億4,788万円

監査委員の審査意見要旨

おおむね適正な執行状況である

一般会計では新庁舎整備事業などの減少により歳出決算額が減少しており、全体的に歳出の抑制が図られている。一般会計及び一部を除く特別会計はいずれも黒字決算であり、財政健全化判断比率においても国の定める基準を十分クリアしており、堅実な財政運営に努めていると認められる。

歳出については、中長期的視野に立った効率的・効果的の行財政運営と人件費、物件費をはじめ、あらゆる分野における削減・抑制は不可欠である。特に業務委託においては、費用対効果を勘案するとともに、その業務に対するノウハウなどのプラスアルファが得られるよう委託内容を検討していただきたい。

なお、市議会において審議中となっている業務に係る関連予算を、議会に適切な説明を行うことなく予算流用を行い執行されたことについては、今後このような事態を起こさないよう注意を促しておきたい。

(監査委員 鈴木陽介・市川岳人)

審議した議案と各議員の賛否(決算)

○印は賛成、×印は反対。なお、岩田議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛・反対	議決結果	川上	北森	信田	西口	福村	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	嶋岡	田中	福田	森川	生中	上田	近森	中谷	百上	北出	空森	安本	中岡
			善幸	徹	利樹	和成	教親	栄樹	弘子	典子	岳人	久美	壮吉	覚	香織	徹	正嗣	宗久	正利	一彦	真奈	忠良	栄幸	栄子	久徳
平成29年度伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	22:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全員賛成で認定した議案

- 平成29年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度伊賀市水道事業会計決算の認定
- 平成29年度伊賀市・名張市広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度伊賀市・名張市広域行政事務組合農業共済事業特別会計決算の認定
- 平成29年度伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成29年度伊賀市病院事業会計決算の認定
- 平成29年度伊賀市下水道事業会計決算の認定
- 平成29年度伊賀市・名張市広域行政事務組合伊賀食肉センター特別会計歳入歳出決算の認定

伊賀市公共事業最適化基金条例の制定

建物の統廃合、除去等を推進するため、伊賀市公共事業最適化基金を設置します
(本議案は、3月定例会において上程され、3月、6月とも継続審査となっていたものです)

《基金積み立てのルール》年間土地・建物売却収入のすべてを積み立てるものとします

全員賛成で
可決

伊賀市支所設置条例の一部改正

市役所本庁舎の四十九町への移転に伴い、ハイトピア伊賀2階に上野支所を設置し、住民サービスを行います

討論(委員会)

賛成 支所のあり方を根本的に見直すべきである。

全員賛成で
可決

伊賀市駐車場条例の一部改正

市役所本庁舎の四十九町への移転に伴い、現市役所前の駐車場を有料とします



質疑(委員会)

問 料金徴収を自動化・機械化にする予定はあるのか。また、積算は行ったか。

答 自動化・機械化はすぐには考えていません。積算も行っていない。

討論(委員会)

賛成 料金徴収の自動化・機械化及び夜間駐車料金徴収について検討をおこなうこと。

全員賛成で
可決

伊賀焼伝統産業会館条例の一部改正

伊賀・信楽古陶館を廃止し、機能を伊賀焼伝統産業会館へ移転するとともに、指定管理者の指定期間を3年から5年に改めます

質疑(委員会)

問 伊賀・信楽古陶館のものを、図書も含め全部伊賀焼伝統産業会館へ移設するのか。また、移設後のセキュリティ強化は。

答 全ての展示は困難なため、奥知コレクションの一部は信楽の公益財団法人ミホミュージアムへ寄託し、伊賀焼の宣伝PRを通じて、伊賀への誘客に努めます。また、夜間の侵入者防止のため、警備会社に防犯警備を委託します。展示物についても落下しない工夫をしていきます。



全員賛成で
可決

伊賀市水道事業給水条例の一部改正

水道を使いやすくすることで、企業の生産意欲の向上と水道使用量の増加を促し、水道料金収入の維持・安定を図ることを目的に、大口需要者を対象とした水道料金等の減額制度を導入します
(本議案は、6月定例会において上程され、継続審査となっていたものですが、その後議案が撤回され一部見直しが行われ、再度上程されたものです)

質疑(委員会)

問 加入負担金の減額制度で、口径40ミリ以上を対象とした理由は。

答 大口需要者の企業に進出していただき、より多く水道利用していただけるよう2分の1に減額しました。

問 雇用の拡大や地域経済の活性化に寄与する数値目標はあるのか。

答 3年間の料金見通しが一つの目標です。新規立地については、水道料金の見直し制度が優遇制度の一つとして後押しできればと考えます。

討論(委員会)

賛成 企業の声を聞きながら年度ごとの効果を検証することを要望する。

賛成多数で
可決

5度目の NO

平成30年度一般会計補正予算 南庁舎改修予算案 賛成少数で否決！！

補正予算(第4号)

・南庁舎整備実施設計業務委託料 9,527万3,000円

賛成少数で
否決

【これまでの経過】

南庁舎整備事業に関する予算は、平成29年6月議会においても上程され、(※)予算の執行を凍結する附帯決議を付して可決しました。しかしながら、市長は、附帯決議に従うことなく「これ以上事業を遅らせるわけにはいかない」として、一方的に基本計画・基本設計業務を進めてきました。

この基本計画・基本設計業務が平成30年8月に終了し、業務成果をベースに次のステップへ進めていくために、9月定例会に実施設計業務委託料の補正予算が上程されたものです。

※予算執行凍結の詳細は、「議会だより No.50」P2～P3をご参照下さい。

討 論

反対

- ・南庁舎整備事業の建物に入る機能について、説明する度に中身が変わってきており、図書館に要する費用を補うための収益の考え方など、いずれも不確実と言わざるを得ない。(委員会)
- ・忍者関連施設で本当に年間2,330万円の家賃が取れるのか疑問である。(本会議)
- ・説明される改修費用が拡大し続けている。また、外構工事費等増大する可能性が高く、今後の維持管理は築50年以上の建物を更に50年管理することになり、営繕費の負担は市民の肩に大きくのしかかる。(本会議)
- ・賑わい、交流を生み出す施設整備はいち早く行うべきだが、甘い見通しや根拠に欠ける計画を認めることは、取り返しのつかない結果を招く。(本会議)

賛成

- ・南庁舎整備事業の図書館機能について、利用者の利便性、建物の耐震及び賑わい創出に対する意見などを十分考慮し実施計画を進めるべき。(委員会)
- ・この事業は、伊賀市が再浮上するチャンスであり、この機運を逃してはならない。(委員会)
- ・2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピックに向けて、熱気をいかに伊賀市に取り込むかが重要である。(本会議)
- ・市内外から文化財的価値について、高い評価を受けている。まちの歴史的、文化的な背景を踏まえ、南庁舎に反映させる必要があり、今回の提案はそのようになっていると受け止めている。(本会議)



補正予算(第3号)

【主なもの】

- ・住民票等証明交付事業
(上野支所まちなかサービスカウンター) 22万7,000円
- ・基金積立金 3億1,450万円
- ・空家対策推進事業経費 970万円
- ・いがまち複合施設整備事業 1,593万7,000円
- ・ブロック塀等対策関係 1,763万円
など

合計 4億9,026万3,000円の追加

賛成多数で
可決

附帯決議

この議案に関して、附帯決議案が提出され、賛成多数で可決されました。

【要 旨】

- 「いがまち複合施設整備事業」の予算執行にあたって、
- ①施設のホールを利活用するため民間などに情報を広く周知すること
 - ②支所のあり方の方向性を示すこと
- を求めるものです。

※附帯決議…議案の議決に当たって、その事件についての意見や要望などを付する決議。法的拘束力を有しないが、本会議で可決されることにより、附帯決議の内容は議会の機関意思となる。

附帯決議
賛成多数で
可決

請 願

全員賛成で
採 択

- 【件名】**
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めること
 - 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること
 - 子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求めること
 - 防災対策の充実を求めること

請願者 伊賀市PTA連合会 会長 川島麻衣子 外2名
紹介議員 中岡久徳、北森徹、宮崎栄樹、上田宗久

■提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣防災担当(防災対策の充実を求めることに関してのみ)

全員賛成で
可 決

意見書

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書の提出

【要 旨】 都道府県税として納付されるゴルフ場利用税収入は、その一部がゴルフ場利用税交付金としてゴルフ場所在市町村に交付され、本市においても貴重な財源となっている。
財政基盤が脆弱な市町村など地方の貴重な自主財源となっているゴルフ場利用税交付金を奪うことは、地方創生の実現に逆行するものである。
よって、「ゴルフ場利用税の廃止」については断固反対し、現行制度を堅持されるよう強く求める。

■提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

審議した議案等と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。なお、岩田議員は議長のため採決に入っていません。

件 名	賛・反 成・対	議決 結果	川	北	信	西	福	宮	桃	山	市	赤	嶋	田	福	森	生	上	近	中	百	北	空	安	中		
			上	森	田	口	村	崎	井	下	川	堀	岡	中	田	田	川	中	上	森	谷	上	出	森	本	岡	
			善	徹	利	和	教	栄	弘	典	岳	久	壯	覚	香	徹	正	宗	正	一	真	忠	栄	美	久		
			幸	徹	樹	成	親	樹	子	子	人	美	吉	覚	織	徹	嗣	久	利	彦	奈	良	幸	栄	徳		
市長提出議案	平成30年度伊賀市一般会計補正予算(第3号)	21:2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
	平成30年度伊賀市一般会計補正予算(第4号)	10:13	否決	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○		
	伊賀市水道事業給水条例の一部改正	22:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
議員提出議案	議案第95号平成30年度一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議	18:5	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×			
全員賛成で可決(同意を含む)した議案																											
請 願	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育費国庫負担制度の充実を求めること ・子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求めること 													<ul style="list-style-type: none"> ・教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること ・防災対策の充実を求めること 													
市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀市公共施設最適化基金条例の制定 ・平成30年度伊賀市病院事業会計補正予算(第1号) ・伊賀市支所設置条例の一部改正 ・伊賀市駐車場条例の一部改正 ・伊賀市少子化対策推進委員会条例の一部改正 ・大山田福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正 ・伊賀焼伝統産業会館条例の一部改正 ・伊賀市建築基準法等関係手数料条例の一部改正 ・新庁舎備品(収納庫・ロッカー)の買入れ ・新庁舎備品(議会関係諸室)の買入れ 													<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・伊賀市役所の位置の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 ・伊賀市災害派遣手当の支給に関する条例の一部改正 ・伊賀市印鑑条例の一部改正 ・伊賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 ・伊賀市文化財保護条例の一部改正 ・財産の無償貸付 ・新庁舎備品(事務用デスク・椅子)の買入れ ・新庁舎備品(窓口カウンター)の買入れ ・人権擁護委員候補者の推薦(内田香代氏、山森裕美子氏) 													
議員提出議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書の提出 ・教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出 ・防災対策の充実を求める意見書の提出 													<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出 ・子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求める意見書の提出 													

一般質問

ここが聞きたい

市政を問う

一般質問は、9月10日、11日、12日、13日の4日間で、17人の議員が市の諸問題についての質問をしました。その主なものを掲載しています。

[QRコードで録画映像をご覧ください]

川上 善幸 議員

質問項目

- 伊賀市のにぎわいに関して
- ニート・ひきこもりの支援
- 高齢者、障がい者の生活支援



問 伊賀市のにぎわいの責任は

市内の他のにぎわいのある施設と連携をしないと本当のにぎわいになりません。現在、南庁舎周辺にある施設を集約しただけでは、にぎわいが生まれるとは思えませんし、特徴を出していかなければなりません。大切な税金を使うのですから失敗したら誰が責任を取るのですか。

答 失敗はしません(市長)

問 ニート・引きこもりの支援を

伊賀市社会福祉協議会でネスト事業が始まりましたが、協力企業が足りない等の課題もあります。市としての支援と役割は、

答 更なる充実を図っていきます

人材や場所、就労体験を提供し、国の引きこもりサポート事業を活用して事業の更なる充実を図っていきます。

問 高齢者・障がい者の生活支援を

市の生活援助事業やシルバー人材センターのサービス、福祉事業所独自の保険外サービス、地域支援等がありますが利用しにくい部分もあり、どの様に支援しますか。

答 県とも連携を図り、生活援助従事者研修を行い、対応をしていきます。

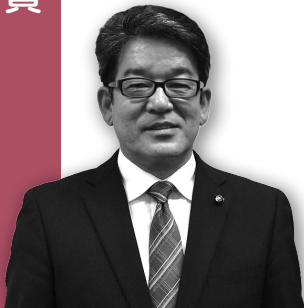


QRコード▶

福村 教親 議員

質問項目

- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての伊賀忍者の発信
- 南庁舎の今後のあり方



問 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての伊賀忍者発信は

答 共に知恵を出し合い発信していきます

伊賀流忍者発祥の地として「忍びの里伊賀・甲賀～リアル忍者を求めて～」が日本遺産に認定されています。国・県と連携し、他の地域との差別化をはかり、インバウンド向けにデジタルプロモーションを進めていきます。また、伊賀でしかできない体験、いがぶらの拡大と共にJAL、忍びの里創生プロジェクトと連携していきます。

問 南庁舎の今後のあり方は

税金を22億円投入するのではなく(※)PFI方式を導入できませんか。

答 時間的なことや様々な要因によって難しいと考えます

南庁舎の複合化については、民間と変わらない発想で、しっかりとしたデータを基に進めています。南庁舎の一刻も早い活用について各団体からも要望をいただいています。全体のマネジメントは民間に任せ、明るい未来・元気な市のために進めたいです。建物に価値があるので、それを生かしていきたいと思います。

※PFI方式：民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して公共事業を行う方式



QRコード▶

中谷 一彦 議員

質問項目

- 南庁舎
- 小・中学校の体育館の維持管理



問 南庁舎移転後に1億2,296万円必要となる上野図書館の運営は

上野図書館を南庁舎の複合施設に移転させ、床面積2,690㎡を使用する計画が示されていますが、その運営と現在の図書館の運営費を教えてください。

答 開館時間を延長します

現在のの上野図書館は、開館時間は午前9時から午後7時まで(月曜日が休館)とし、直営体制で一部業務委託をしており、運営委託費として約5,000万円支出しています。移転後は開館時間を午後9時までに延長し、また、休館日も出来る限り削減し、多くの皆さんに利用していただきたいと考えています。

問 国際忍者研究センターの家賃補助は

現在ハイトピアにある国際忍者研究センターは三重大学に委託し運営されています。市から運営補助金として420万円が支出されていますが、借室料140万円も含まれています。南庁舎跡に移転した場合、三重大学には年間790万円の家賃をいただく予定ですが、家賃を含めた補助金が支出されるのではないですか。

答 三重大学への家賃補助は行いません

三重大学へは目的が明確な事に支出し、家賃補助はしません。



QRコード▶

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

- 伊賀市の財政
- 地域包括交付金の減額見直し案
- 南庁舎整備事業



問 財政見通しの平成31年度以降では、単年度収支の赤字が続きます

民間企業では、単年度収支の赤字状況が続けば、融資が困難になり資金ショートします。地方交付税の減少や義務的経費が硬直している財政的構造がありますが、今後どのような財政運営を続けますか。

答 プライマリーバランスに配慮します

義務的経費の公債費と人件費については、類似団体と比較すると平均を上回っています。

公債費については、大型の投資事業の財源として地方債を充当していますので、その償還が続くこととなりますが、平成32年

度以降は起債が返済を上回らないようにする必要があります。また、人件費では、時間外手当の縮減、定員削減に努めます。

問 自治協との協働は可能ですか

来年度以降、自治協議会への交付金の減額案が示されました。全体で6,000万円の減額です。今後、自治協議会と行政との両輪での協働は可能ですか。

答 今後、最終案を決定します

自治協議会への説明会では、厳しい意見をいただいています。いただいた意見等を参考に自治協との協働を意識して最終案を策定したいと考えています。

QRコード▶



北森 徹 議員

質問項目

- 外国にルーツを持つ子ども達の教育環境と対応
- 市街地における下水道事業のこれから



問 外国にルーツを持つ子ども達の教育環境と対応は

答 高校への進学をやすくしています

外国にルーツを持つ子ども達が編入してきた場合、「初期適応指導教室」で50日程度指導し、その後、在籍校での教育を支援しています。また、今年度から「下学年編入制度」を新設しています。

問 中学校から高校への進学率は

答 外国にルーツを持つ生徒の進学率は、過去5年間の平均で約85%です。

問 市街地の下水道整備のこれからは

答 下水道整備は緊急課題です

近年多発する大雨による雨水排水や、地震にも耐えうる下水道整備は急務であり、衛生的で快適な生活環境を確保するだけでなく、下流地域に綺麗な水を送るのが市の責務です。地域の方々の理解を深めていきます。

問 早期整備、受益者負担等の説明は

答 市の考えをしっかりと説明します

地域の方々の意見を聞き、下水道事業の必要性や理解が深まるよう、また、受益者負担や使用料などについても誤解が無いよう説明します。啓発チラシの配布も行います。

QRコード▶



山下 典子 議員

質問項目

- 手話言語条例の制定
- 伊賀焼・伊賀くみひも等伝統産業の振興
- 人工芝グラウンドの整備
- 大雨による家屋や工場への浸水対策



問 大雨による家屋や工場への浸水対策は

平成25年の台風18号により三田地区の約20haが浸水し、床上浸水45世帯、床下浸水8世帯の被害が出ました。平成29年の台風21号では家屋の浸水は免れましたが、三田地区の工場の駐車場や国道422号が浸水しました。浸水対策の実施状況と今後の対策を伺います。

答 県と国に強く要望します

市が行っている内水排水対策は、固定ポンプとポンプ車をあわせて毎分122tの排水能力となり一定の整備は完了しています。今後、三重県に対して浅古川の(*)浚渫と河川改修を、国に対しては引堤による河

川改修と河道掘削を要望していきます。

問 市内で発生した災害による被災者に対し、災害見舞金は支給されますか

答 支給します

伊賀市災害見舞金支給要綱に沿って支給します。支給する見舞金の額は、
①住家が全壊した場合、1世帯10万円
②住家が半壊した場合、1世帯5万円
③住家が床上浸水した場合、1世帯2万円
④死亡された方一人につき10万円となっています。

*浚渫：河川などの底面をさらって、土砂などを取り去る土木工事

QRコード▶



一般質問

嶋岡 壮吉 議員

質問項目

- 水道事業
- 危機管理
- 森林・林業の環境対策
- 道路管理の現状



問 水道管の耐震化と人口減少が進む中、水道料金を15年間据え置きすることは問題ないのですか

答 現行の料金体系を維持できるよう努めます

水道管の耐震化は今後、年間約5km(4億円)のペースで進める計画をしています。人口減少は進みますが、今後の収支の見通しから大きな社会経済情勢の変化がない限り平成43年までは、現行の水道料金での運営が可能と見通しています。

問 避難所までの避難経路と生活水の確保は

答 避難経路は基本的には徒歩で幹線道路を使用します

生活用水は、井戸水の利用や学校プールの水を利用し浄水装置で生活用水とします。

問 森林環境税と森林経営管理法への対応は

答 放置林拡大防止のため官民一体となって推進します

森林環境税は、譲与税として市に先行的に2019年から交付されるものです。用途や交付金額はまだ示されていません。間伐や森林整備に使用できるよう国等に要望します。森林経営管理法は、所有者による経営管理が行われていない森林に市が仲介役となり、森林所有者と林業経営者をつなぐ制度です。放置された山林を市が適切に管理していきます。

QRコード▶



福田 香織 議員

質問項目

- バスの運行
- ごみ処理のあり方
- 地区市民センターのあり方



問 小学生の安全確保を

諏訪の小・中学生が乗っているスクールバスが、来年4月から廃止になり、路線バスと一本化すると聞きました。

路線バスになると国道沿いでの乗降となるため、子どもたちが待機するスペースがありません。バス停まで安全サポーターを付けて貰えますか。

答 スクールサポーター等を配置します

公共交通機関のバスとスクールバスがほぼ同一路線を運行している地域もあり、その地域はスクールバスから路線バス等へ乗り換えを予定しています。

問 中学生の負担軽減を

諏訪から城東中学校に通う生徒は、三訪小学校を經由しハイトピア前まで行き、終点が城東中学校だと聞きましたが、とても遠回りになります。近いルートを考えて貰えませんか。

答 現時点では、ハイトピア経由のルートを考えています

路線バスでは、諏訪からハイトピアを經由し、乗り換えなしで城東中学校へ向かう予定です。スクールバスとの時間差は約6分ですので、大きな負担になるとは考えていません。

QRコード▶



宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 自伐型林業の推進
- 川上ダムの治水
- 香害・化学物質過敏症
- 消防団夏期訓練



問 ^{こうがい}香害・化学物質過敏症の啓発を

香害とは、柔軟剤や香水などの化学物質の香りによって、頭痛やめまいなどの健康被害を受ける現象です。香害が原因となって、健康被害を引き起こす「化学物質過敏症」を発症する方が増加しており、近年社会的に認知され始めています。特に成長過程にある子どもたちが継続的に体内に化学物質を取り入れることが懸念され、アレルギーや発達障がいの一因になると言われています。友達の前においがかつらくて学校に行けないという事例もあるように聞きます。学校内で香害についての啓発をできませんか。

答 周知・啓発をしていきます

市内の小中学校でも化学物質に過敏な児童・生徒は若干いますが、各学校において健康調査や保護者との情報共有をして気を付けています。また、掲示物で啓発をしている学校もあります。今後も先生方や保護者の方へ機会を捉えて周知・啓発をしていきます。

QRコード▶



一般質問

桃井 弘子 議員

質問項目

●救急車の更新

問 市内の救急車の台数と救急の現状は

答 伊賀市内の救急車の台数は8台です

救急の現状は、平成29年度の出動件数は4,809件で、前年度より266件増加しています。救急車の走行距離は中消防署で年間3万km、その他の署は平均1万5千kmから2万kmです。

問 救急車の更新計画は

救急車の使用年数は10年以上が2台あり、走行距離では20万km以上が2台、15万km以上が1台あります。この年数と走行距離で安心安全と言えますか。

答 中消防署は7年毎に、その他は9から10年毎に更新する予定です

6ヶ月、12ヶ月法定点検に加えて、日常点検と共に早期のオイル交換等メンテナンスには万全を期しています。

問 他市のように走行距離または年数の更新計画を立てるべきでは

答 更新計画をしっかりと立てます

救急車は、市民の安心安全、生命を考えると一番大切な車両です。備品の更新等も含め、更新計画を立てていきます。

市民の皆様の救急車に対する適正利用をお願いしたいと思います。

QRコード▶



安本 美栄子 議員

質問項目

- 健康マイレージ事業
- 指定管理者制度
- 合併特例債

問 (※)健康マイレージ「ポイント」の拡大を

魅力的でワクワク感のあるポイント制度にするため、従来の健康に特化した事業参加に加え、住民自治協議会主催の社会性の高いイベント参加時も対象にし、また、ポイント交換も、「お買い物ポイント」にしてはどうか。

答 検討します

無関心層の方や、働く世代の方の健康づくりの支援策として、使い勝手の良い事業にします。

※ 伊賀市健康マイレージ事業:市民の方が、がん検診、健康診断の受診や健康づくりに取り組むことでポイントを貯め、グッズの抽選に応募できる制度

問 指定管理に関する条例の見直しは

指定管理者の指定手続き条例、施設の設置管理条例、個別協定書などでは、行政が事業者伝えるべき政策的なミッションが不明瞭であるため、条例を見直し、しっかりと明記すべきではないか。

答 条例の整備を行いたい

現在の指定管理者の指定手続き条例に書き加える等、しっかりと事業者にミッションを伝えられるように、見直しを行っていきます。

QRコード▶



百上 真奈 議員

質問項目

- ブロック塀等の安全対策
- 南山城村・伊賀市太陽光発電事業
- 住民自治協議会と地域包括交付金

問 通学路のブロック塀の安全対策を

大阪北部で発生した地震により、小学生と高齢者が犠牲になりました。学校では学校施設内と通学路のブロック塀について安全点検をされましたが、その結果と教育委員会としての、通学路の危険ブロック塀に対する安全対策を教えてください。

答 通学路の変更などを実施します

全学校で点検した上で、通学路を変更したり、地震発生時には、ブロック塀から離れるよう子どもたちに指導しています。

問 撤去費補助は通学路のブロック塀優先で

新たなブロック塀等撤去費補助制度は、子どもの命を守るために、通学路を最優先に取り組んでください。また、撤去後軽量なフェンスや生垣を設置するための補助制度も作って下さい。

答 通学路をはじめ、道路に面したブロック塀等が対象です

ブロック塀等撤去費補助は、通学路に限らず、誰でも通る道路に面したところを対象にします。なお、撤去後の生垣等設置補助は考えていません。

QRコード▶



一般質問

信田 利樹 議員

質問項目

- 地域包括交付金に関して
- 上野東町ポケットパーク



問 地域包括交付金に関して

第3次見直し(案)を39の住民自治協議会に説明会を行っています。第2次見直しがなされた平成28年度に2,000万円増額された時も同様に説明会を行いました。また、平成28年度から増額しなければならない特別な理由があったのですか。

答 同様に説明会を行いました

平成28年度から30年度の増額は、住民自治協議会の地域基盤の強化、組織の強化、組織運営の円滑化の目的を持ってしっかりと基盤整備をしていただくためです。

問 上野東町ポケットパークの進捗状況は

日本一のトイレを建設するという事で賞を受賞した設計会社を選定しましたが、完了しましたか。

答 委託契約の工期は7月でしたが、9月末まで延期しなければならない事情が発生したので、完了していません

問 設計が完了したら建築工事も賞を受賞した県外の業者を選定する予定ですか

答 設計者と話し合い、建築工事は地元業者を選定する予定です

QRコード▶



田中 覚 議員

質問項目

- 環境行政



問 岡本市政には環境という言葉聞きません

民間主導による工業団地、仮称グリーンファクトリーは自然破壊につながりませんか。

久米川は、三重県内で2番目に悪い水質ですが、たちまち、中、長期的に対策するのは市の責務ではありませんか。

また、大山田地内に基準値の約4倍のヒ素が検出された産業廃棄物が山積みになっています。事業者は、本年10月までに撤去しなくてはなりません。資金難と聞いています。

市長就任後、自然環境保全の施策が見当たりません。私たちが生活をする上流域に不法投棄があっても、選ばれる伊賀市、誇る伊賀市と言えますか。

答 豊かな自然を生かしていくことは大切なことです

久米川の河川汚濁はシティープロモーションの面からしても、伊賀市を誇れません。水の流れを阻む堆積物排除のため、河道掘削などを三重県に要望します。また、合併浄化槽の設置を推進します。

廃棄物の不法投棄は周辺環境に及ぼす影響は大きいと考えます。三重県と連携して防止・監視・指導に一層努めます。

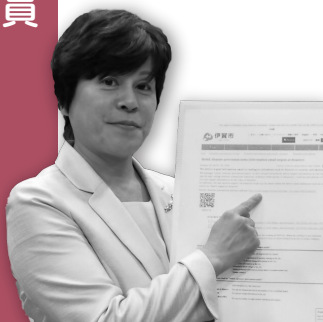
QRコード▶



赤堀 久美 議員

質問項目

- 多文化共生の地域づくり
- 選挙の投票



問 日本語教育の充実が必要では

伊賀市にお住まいの外国人は、全体の人口の5.54%にあたります。伊賀市では、多文化共生の観点から様々なサービスを行っていますが、外国人や外国にルーツを持つ方は、言葉の壁を感じながら生活されています。日本語教室もボランティアで行っていただいているのですが、後継者不足とも聞きます。これからも伊賀市に外国人が増えると思いますので、日本語教育を充実させる必要があるのではないですか。

答 テクニカルアドバイザーを増やしていきたいです

今よりも日本語教室の教師の指導者で

あるテクニカルアドバイザーを充実させないといけません。日本語教師の養成講座や国の制度による研修などもありますので、検討します。

問 期日前投票をしやすい環境に

期日前投票をスムーズに行うため、投票所入場券の裏に宣誓書を印刷して事前に配付すれば自宅で記入し投票に行けます。市民の方が投票しやすい環境をつくるのが大切ではないですか。

答 他市の事例と比べて検討します

QRコード▶



一般質問

森川 徹議員

質問項目

- 新庁舎の職員駐車場と周辺道路整備
- 伊賀市生涯スポーツ都市宣言後の成果と今後の取り組み



問 新庁舎の職員用駐車場は確保できていますか

新庁舎の職員用駐車場が不足しているということですが、職員の職場環境を考える上で、人数分の駐車場を確保するのが当然だと思いますが、どのように考えていますか。また、災害時等にどうしても職員が車で来なければならなかった時の対応はどのようにお考えですか。

答 民有地を借り対応します

不足分についてはなるべく公共交通機関等を利用していただく計画でしたが、当初計画より職員数が増加したため、新たに民有地を借り対応します。このことにより、正規職員には月額2,000円を徴収する予定

です。災害時等一時的に車を利用しなければならなくなった職員については、来庁者用駐車場で対応したいと考えています。

また、伊賀鉄道を利用しやすいように(※1)パークアンドライドの推進や簡易な(※2)フレックスタイム制の徹底なども考えていきたいと思っています。

※1 パークアンドライド: 駅まで自家用車で来て、鉄道で目的地に向かうこと

※2 フレックスタイム制: 職員が始業・終業時刻を自身で決定して働く制度

QRコード▶



西口 和成議員

質問項目

- 避難所に関して
- 庁舎移転に伴う中心市街地への影響に関して



問 大規模災害における備えは

いつ発生するか分からない大規模災害における伊賀市の備えについて伺います。伊賀市の洪水ハザードマップの現状は。

答 新しい洪水ハザードマップを今年度末に各戸配布します

伊賀市の洪水ハザードマップは、平成26年度に木津川、服部川、柘植川の100年に一度の氾濫を想定し、作成、各戸配布を行うとともにホームページにも掲載しています。

しかし、近年の集中豪雨多発から1000年に一度の浸水想定区域の洪水ハザードマップの見直し作業をしており、今回は多言

語対応ハザードマップも作成予定です。また、今後速やかに国・県と連動した危機管理情報を各地域へお伝えしていきます。

問 避難施設の維持管理について伺います

廃止した学校体育館や保育園を拠点避難所や指定避難所に伊賀市が指定していますが、大規模災害発生時に使用できますか。

答 避難所のあり方について抜本的な見直しをします

速やかに各地域と施設の点検、維持管理運営について協議を行い、適切に対応していきます。

QRコード▶



議会活動の報告

上野商工会議所女性会と懇談 7/30(月) ハイトピア伊賀

産業建設常任委員会が、上野商工会議所女性会と「伊賀市南庁舎跡地活用について」というテーマで出前講座を開催しました。

委員からは、南庁舎に関わる経緯の説明や、それぞれの考えを伝えました。また、女性会の方々から以下の意見が出されました。

- ・面積の大半が図書館では、賑わいは生まれにくい
- ・賑わっている雰囲気を出すべき
- ・若い人をひき付けるものや若い人の居場所作りが必要
- ・女性は時間を気にせずに、ゆっくりおしゃべりが出来る場所が欲しい

など商工業に携わっている方々ならではの意見をお聞かせいただきました。2時間弱にわたり有意義な意見交換が行われました。



出前講座

(一社)大山田温泉福祉公社と懇談 8/20(月) さるびの温泉

総務常任委員会が一般財団法人大山田温泉福祉公社と「将来の公共温泉のあり方について」というテーマで出前講座を開催しました。

公社の理事長から、温泉の経営状況や今後の事業展開、運営方針について説明がありました。その中で11月3日(祝日)に行われる「NINJA TRAILRUN」(ニンジャトレイルラン)についての説明があり、今年は900人規模の世界最大級のレースを企画しており、スポーツ振興、観光の両面から当施設への集客の努力をしているとのことでした。

こうした取組みに対して委員からは「市もスポーツツーリズムの観点から金銭支援が難しいのであれば、人的支援等で世界的イベントを盛り上げる必要があるのでは」といった意見が出ました。

その他に、現在の入湯税のあり方についても議論がなされ、今後の入湯税について議会で更に熟議の必要があるとの結論に至りました。



広報委員会 7月25日(水)～26日(木)

みんなに親しまれる広報づくりを

- 東京都多摩市議会 「議会広報の編集方法」
- 東京都小金井市議会 「議会広報に関する意識調査」



市民の皆さんに分かりやすい議会だよりを作ることを目的に、7月25日、26日の2日間、東京都多摩市議会と小金井市議会を視察調査しました。

多摩市議会では、議会だよりが平成29年5月号から全面リニューアルされました。読みやすいようフォントを工夫して「何を伝えたいか」を強調し、議員の熱意が伝わる紙面づくりが実施されています。

小金井市議会では平成28年に市民アンケート調査を

行いました。『議会だよりに政治や議会に詳しくない市民にも理解できるような解説を設けてほしい』、『市議会の制度や仕組みを紹介してほしい』など、紙面改革にかかわる貴重な意見があり、今後紙面に活かされるそうです。

今回視察させていただいた2つの市議会の取り組みを参考に、今後、余白を設け読みやすくする、写真を効果的に使用するなど、幅広い世代の方に気軽に手に取っていただけるような紙面づくりに取り組んでいきます。

総務常任委員会 8月7日(水)～9日(金)

独自の自主財源確保で観光振興を

- 京都府京都市 「宿泊税の導入」
- 福岡県太宰府市 「歴史と文化の環境税」
- 山口県山口市 「個性と安心の21地域づくり」



京都市では、今年10月より一部例外を除く約3,000件の宿泊施設において宿泊税を徴収することになりました。既存の市税財源が少ない中、新たな独自財源を確保し、観光課題と市民生活との調和を図るための取り組みがなされていました。

太宰府市では平成15年度より、歴史と文化の環境税として、主に観光客を対象に、一時預かりの有料駐車場利用に対して課税がなされています。駐車場事業者からの反発も多い中、市民からは税に対して一定の理解を得ており、現在まで継続して課税されていることから成功事

例であることが伺えました。

山口市では、地域づくり協議会を21全ての自治会で設立し、市税収入の1%を目安に財源が交付されています。また、地域交流センターを設置し、正規職員を複数人配置することで、補完性の原則による地域づくりを目指した取り組みがなされていました。

今回は、法定外課税や地域づくりについて調査してきました。これらの事例を参考に、今後の政策提言につなげていきたいと思えます。

今、市議会では

こんなことを議論しています！

伊賀市議会では、議会基本条例に基づく議会改革に向けた様々な議論・検討を行っています。

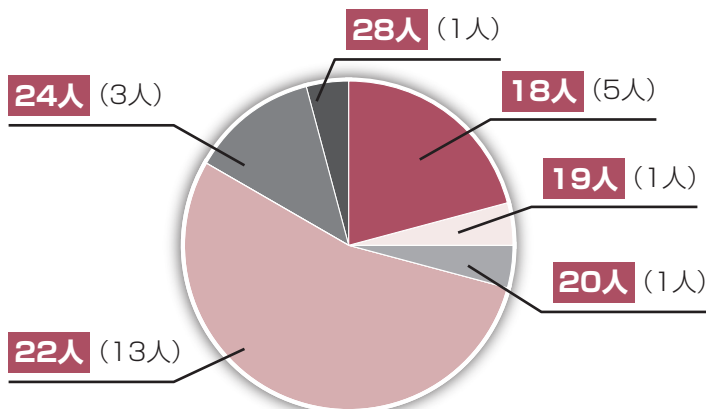
1 議員定数と議員報酬、市長選挙と市議会議員選挙の同時選挙

伊賀市議会議員24名にアンケート調査(無記名)を行いました。

※ ()は回答した議員数。

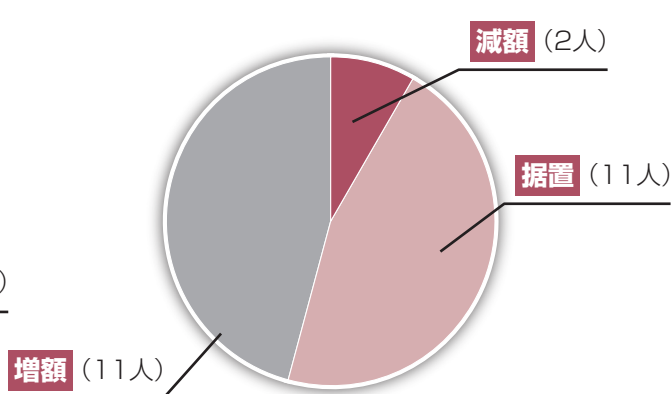
Q1. 議員定数の考え方

【現在の議員定数 24人】

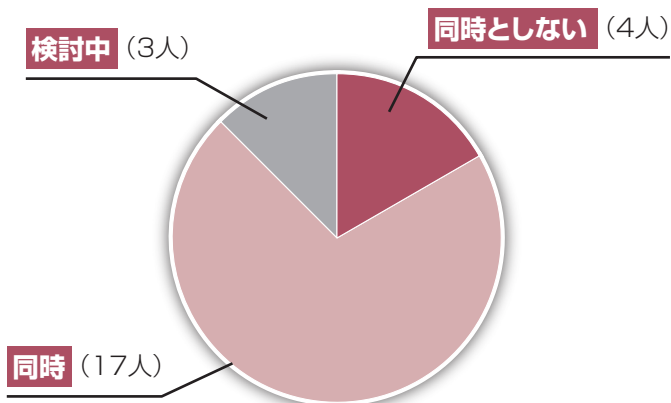


Q2. 議員報酬の方向性

【現在の議員報酬 423,000円】



Q3. 市長選挙との同時選挙



議会活性化推進会議の様子

議員定数と議員報酬の相関性や政務活動費、費用弁償の取り扱いなど様々な観点から今後どのようにしていくべきか検討しています。

2 予算と決算の連動のしくみづくり

9月定例会における決算審査や議会タウンミーティングで出された意見などを踏まえ、3つの常任委員会が課題を抽出し、次年度以降の予算編成等へ向けて提言を行うための所管事務調査を行っています。

3 その他の取り組み

住民自治協議会を対象に行っている議会報告会の見直しや、より幅広い意見を聞く場として議会タウンミーティングを行うなど、今後政策提言に向けた取り組みについてどのようにしていくか議論しています。

地域の魅力発見 第5弾

市議会広報委員がおじゃまします!

自然豊かな緑に囲まれた旧博要小学校。そこはまるで時間が止まったような懐かしい光景です。今回は、廃校になった旧博要小学校を地域の活性化や交流の拠点として地域づくりに取り組んでいる博要地域におじゃましました。

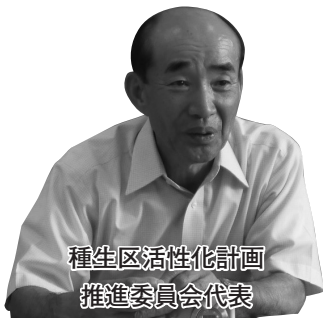


☆魅力を発信してくださったのは…☆

- 種生区活性化計画推進委員会代表
こたけのりただ
小竹紀忠さん
- NPO法人「博要の丘」代表
かわいふみこ
川合文子さん

住民が心豊かに暮らすために自分たちで地域を支えています 何より、自分たちが満足しないとダメなんです

— 地域づくりのきっかけを教えてください。



種生区活性化計画
推進委員会代表
小竹紀忠さん



種生地区は過疎・高齢化が進み、これではいけないと平成5年に「種生区活性化計画検討委員会」が発足し、地域活性化への取組みが立ち上がりました。まず、高齢者が元気に農業を続けられるよう田と水路を整理しました。同時に農業によって減少したホタルを川に呼び戻そうと「ほたる水路」もつくりました。今では「ほたるの里」となっています。ホタルの養殖は一切行わず、自然に任せています。ホタルを呼び戻すことがこの地域の環境がよくなることだと、ホタルの数をバロメーターにしています。環境美化の思いが地域全体に広がり、今では6月にある「ほたるまつり」には委員会のメンバーだけではなく、多くの住民が参加しています。

— 旧博要小学校についてお聞かせください。



旧博要小学校は、昭和20年代のベビーブームで生徒数が増加し、各地で一斉に立てられた小学校の一つです。その頃建てられた木造校舎は急場しのぎで建てられたものが多く、材料もよくありませんでした。時代の流れで、他の学校は鉄筋の新しい校舎に生まれ変わっており、伊賀市で現存しているのはここだけです。その博要小学校も平成15年に廃校になりましたが、地域としては、昭和の建築遺産として校舎を残したい思いがありました。平成16年に設立されたNPO法人「博要の丘」が旧博要小学校を整備し、種生区と老川区の住民によるNPO法人が運営にあたっています。



NPO法人「博要の丘」代表
川合文子さん



— 学校の活用方法は。またPRはどのような方法でやっていますか。

小学校の跡地なので、子どもたちに来てもらいたいという思いが根底にあります。主な活用は、地元の『青山和太鼓』の練習やスポーツ少年団のキャンプの提供などです。

PRするのが上手ではないので、ホームページもありませんし、派手な宣伝もしていません。みなさん口コミで来てくれています。

— 今後の方向性をお聞かせください。



博要小学校を「何としても残したい、みなさんが懐かしく思い、足を運んでくれる場所であってほしい」と始めた頃のように、今はそれだけにこだわっているわけではありません。自分たちも年老いてくるのは避けられませんし、次の世代につなげるステップを考えていかなければならない時が来ていると思います。



住んでいる住民が心豊かに暮らせるコンセプトを持って取り組んでいるのは、始めた25年前から変わっていません。そんな取組みを聞いて、遠い地域から移住された方もみえます。一人でも私たちの思いを引き継いでくれたらこんな嬉しいことはありませんね。

旧博要小学校の思い出



歴代卒業生の写真がズラリ



授業を知らせた鐘

青山の歴史を感じるスポットをご紹介します

大村神社「宝殿」 阿保地区

ゆるやかな山上に位置する大村神社。「宝殿」は元の本殿であり、国の重要文化財に指定されています。

創建は、天正15年（1587年）で、構造は一間社入母屋造。屋根は松皮葺、木ぐみは簡素ながら形状はよく



▲大村神社



▲案内してくれた金山宮司

整い、絵様・彫刻・色彩は安土桃山様式の建築美を有しています。

境内には「要石」が奉斎されています。この靈石は、地下深く広がり、大地を揺るがす大なますをしっかりと押さえていると伝えられています。安政元年伊賀上野大地震には、不思議とこの地方は難を免れたと逸話があり、全国から参拝客が訪れています。

（大村神社資料より）



▲要石となます

兼好塚 種生地区

種生の国見山は『徒然草』の作者として有名な吉田兼好が晩年過ごした地として知られています。

幼少の頃から和歌や文芸に優れていた兼好は、囑望された公卿の道を行っていたにもかかわらず、30代で出家しました。その後兼好法師と名乗り、諸国を巡り歩いたと伝えられています。晩年はこの地に庵を結び、花鳥風月を楽しむ生活を送ったと伝えられています。

現在、兼好塚は種生地区が管理し守り続けています。

（つれづれの里 兼好塚資料より）



▲兼好塚

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴できます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴してください。

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の2日前（土日祝除く）までに市議会議務局に申し出てください。（対象となる会議・・・一般質問）
- 議場傍聴席に「ヒアリンググループ（磁気誘導ループ）」を設置しています。

※本会議・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。（再放送は午後7時から）

※本会議等は市議会議場または第1委員会室で開催します。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501 伊賀市議会議務局「議会だより感想」宛
TEL 0595-22-9687 E-mail gikai@city.iga.lg.jp
FAX 0595-24-7901
ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出しています。希望される場合は、上記までお問い合わせください。



平成30年12月定例会日程(予定)

11月29日(木)	本会議(開 会)
12月 6日(木)	本会議(一般質問)
7日(金)	本会議(一般質問)
10日(月)	本会議(一般質問)
11日(火)	本会議(一般質問)
13日(木)	予算常任委員会
14日(金)	予算・決算を除く各常任委員会
17日(月)	予算・決算を除く各常任委員会
25日(火)	本会議(閉 会)

※本会議と予算・決算常任委員会は10時から始まりです。

その他の各常任委員会は、開会日に決定します。

※定例会の日程は、変更になる場合があります。

会議の内容を閲覧できます



市議会議本会議等の会議録は伊賀市ホームページや議会図書室(冊子)でご覧いただけます。

平成30年9月定例会の会議録は11月29日以降となります。なお、会議録が出来上がるまでの間はホームページで音声をお聴きいただけます。

次号は2月1日です。

発行:伊賀市議会 編集:伊賀市議会広報委員会

編集
後記

「地域の魅力発見」今回は、青山地域の魅力を探りました。地域の魅力発見も終盤になりました。今後も市民の皆様に興味を持っていただけるよう紙面づくりに励みます。(桃井)